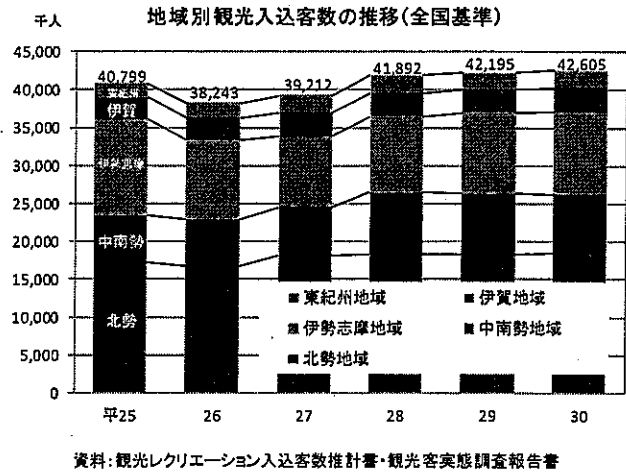
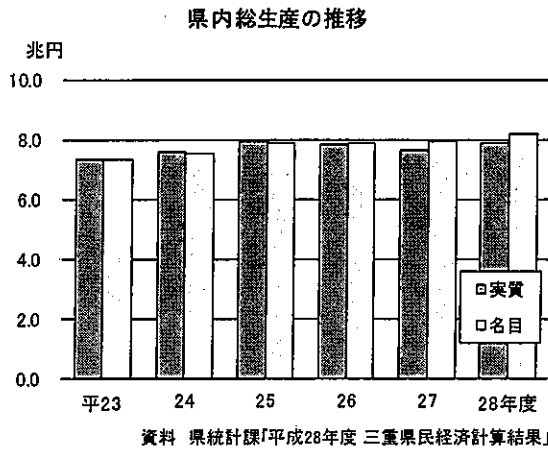


# 第1 三重県のプロフィール

## 1 位置と地勢

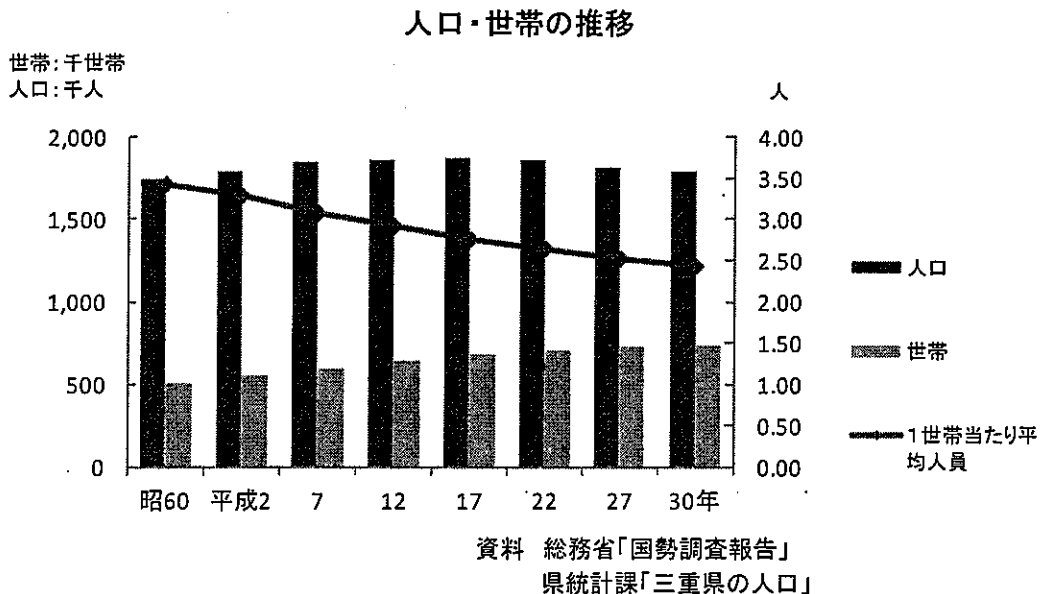
三重県は、日本列島のほぼ中央に位置し、東西約 80 km、南北約 170 kmの南北に細長い県土を持っています。

また、北部は商工業が盛んな地域である一方、南部は伊勢志摩国立公園や世界遺産熊野古道などの地域資源を有し、都市的機能と豊かな自然とのバランスがとれた地域となっています。



## 2 人口と面積

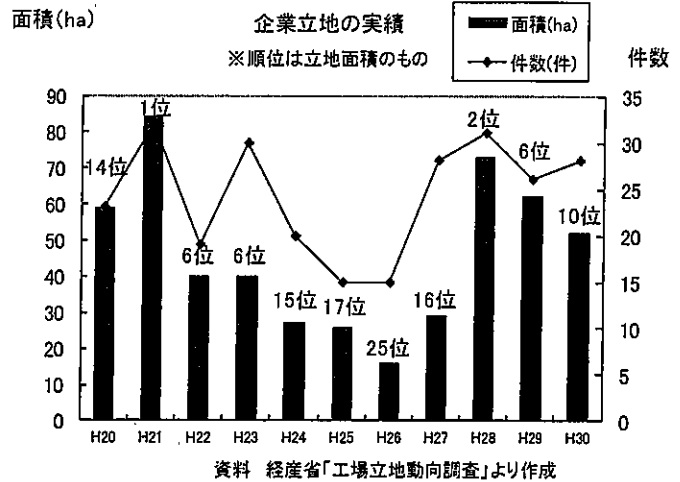
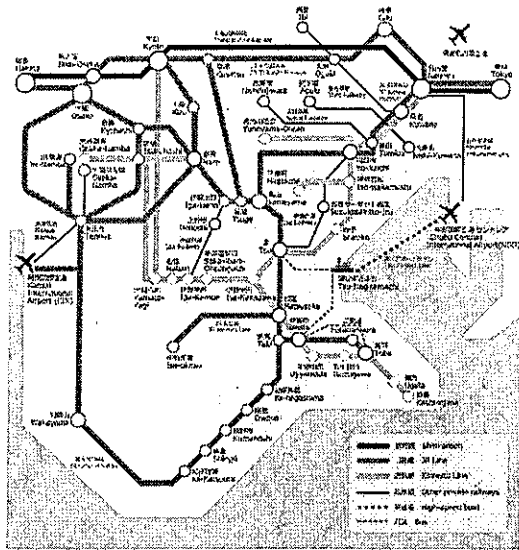
平成 30 年 10 月 1 日現在の人口は、約 179 万人で、都道府県別の全国順位は 22 番目の多さになっています。また、平成 30 年 10 月 1 日の総面積は 5,774.42 km<sup>2</sup>で、全国第 25 位の広さになっています。



## 3 交通アクセス

三重県は、中部圏と近畿圏の両方に属していることもあり、鉄道のほか、東名阪自動車道や第二名神高速道路などの高速道路、幹線国道が充実し、二大都市圏へのアクセスが大変便利になっています。

また、四日市港、中部国際空港など海外からのアクセスも充実しています。



例えば、津市から大阪市までの所要時間は、自動車で約2時間、鉄道で約1時間30分、名古屋市までは、自動車で約1時間、鉄道で約50分となっています。

このようなアクセスの良さもあって、平成10年から平成29年までの間に、三重県内において取得された企業の工場用地（千㎡以上）の面積は、10,868千㎡となり、全国に占める割合は約3.6%（全国第10位）となっています。

#### 4. 産業

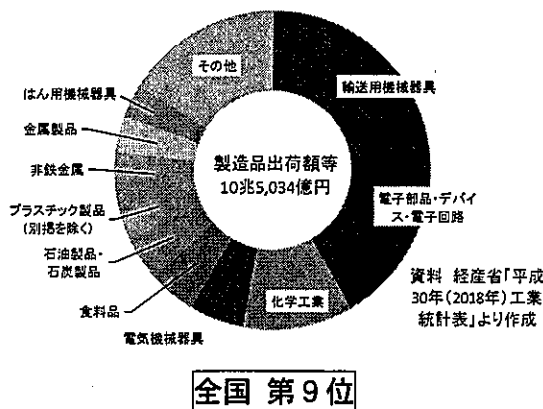
三重県は、国内でも有数の石油化学コンビナートを有するとともに、半導体、液晶、自動車などの先端産業が発達しています。

こうした状況は統計面でも現れています。平成30年工業統計調査によると、平成29年の製造品出荷額等は10兆5,034億円で、全国第9位の規模となっています。

また、農林水産業では、なばな、サツキ、つつじ、茶、ヒノキなどの生産量が全国的にも上位にあり、伊勢エビやカツオなどの漁獲量も多く、自然に恵まれた本県ならではの特性となっています。

なお、1人当たりの県民所得は、平成20年秋以降の米国発の世界的な金融危機の影響から、企業収益が大きく悪化したことに伴い、平成20年度から減少に転じ、その後横ばいの状況が続いていましたが、平成24年度から上昇に転じ、平成28年度は前年度より4.3%増加して315万5千円となっています。

製造品出荷額等(平成29年)



1人当たり県民所得の推移

